

# 中学校 部活動指導員について

小樽市教育委員会では、市内の中学校において、部活動の実技指導等を行う「部活動指導員」の任用候補者を、次のとおり募集しています。

候補者となることを希望される方は、別紙推薦書を提出願います。

なお、応募資格を満たす方を「部活動指導員任用候補者名簿」に登録いたしますが、学校が希望する部活に対し配置を行うため、名簿に登録された方が、部活動指導員として必ず任用されるわけではないことに御留意願います。

## ① 募集の内容

(1) 応募資格は次のいずれかに該当する者

- ア 教員の免許状を有する者
- イ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者
- ウ 部活動（運動系、文化系問わず）の指導実績を有する者
- エ その他アからウまでに掲げる者と同程度の知識又は技術を有すると認められる者



(2) 勤務日・勤務時間数の目安（※学校によって異なります）

週5回程度（最大）、平日2時間、土日祝等は3時間程度（年間515時間以内）

(3) 報酬等

- ア 身分：小樽市教育委員会会計年度任用職員(パートタイム)として任用します。
- イ 報酬：勤務実績に応じ、1,600円/時間を支給します。
- ウ 通勤手当：車通勤の場合のみ、距離に応じて支給します。

(4) 職務内容

- ・運動部活の実技指導
- ・学校外での活動（大会・練習試合等）の引率
- ・保護者等への連絡
- ・生徒指導に係る対応 など

## ② 応募方法

別紙の推薦書を小樽市教育委員会教育総務課職員係あて提出願います。

## ③ 任用までの流れについて

- ・応募資格を満たす方を「部活動指導員任用候補者名簿」に登録し、部活動指導員の配置を考えている学校から照会があった場合、学校に名簿の情報を提供します。
- ・学校と勤務条件等を確認の上、市教委での採用面接で合格すれば任用となります。
- ・正式任用前に教育委員会で実施する研修を必ず受けて頂きます。

※ 任用に必要な書類

- ・履歴書(市販のものでかまいません)
- ・資格又は経験を証明できる書類





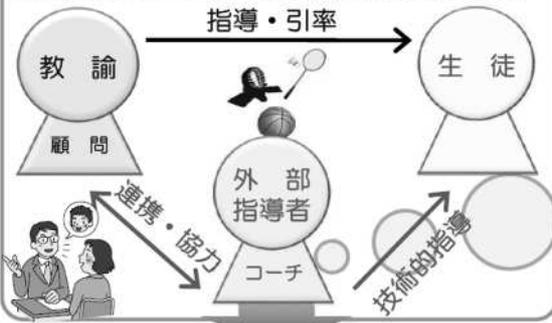
## 背景

- 運動部活動については、顧問のうち、**保健体育以外の教員で担当している部活動の競技経験がない者が中学校で約46%、高等学校で約41%となっている。**※1
- 日本の中学校教員の勤務時間は参加国・地域中、**最長となっている。**※2

※1 (公財)日本体育協会「学校運動部活動指導者の実態に関する調査(平成26年)」 ※2 OECD「国際教員指導環境調査(TALIS2013)」

## 外部指導者の活用

外部指導者は、顧問の教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。



## 部活動指導員の制度化(H29.4.1施行)

中学校、高等学校等において、校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする「部活動指導員」を学校教育法施行規則に新たに規定。

### <職務>

実技指導、安全・障害予防に関する知識・技能の指導、学校外での活動(大会・練習試合等)の引率※3、用具・施設の点検・管理、部活動の管理運営(会計管理等)、保護者等への連絡、年間・月間指導計画の作成、生徒指導に係る対応、事故が発生した場合の現場対応 等

※3 大会の主催者である中体連や高体連、高野連等において、関係規定の改正等を行う必要がある。

### 規則等の策定

学校設置者は、身分、任用、職務、災害補償、服務等に関する事項等必要な事項を定めた部活動指導員に関する規則等を策定。

### 体制の整備

学校設置者及び学校は、部活動指導員に対し、部活動の位置付けと教育的意義等について、事前に研修を行うほか、その後も定期的に研修を行う。

### 研修の実施

## 部活動指導員の任用

部活動指導員は、部活動の顧問として技術的な指導を行うとともに、担当教諭等と日常的に指導内容や生徒の様子、事故が発生した場合の対応等について情報交換を行う等の連携を十分に図る。

### ケース1 (部活動指導員が顧問)



### ケース2 (部活動指導員及び教諭が顧問)



## 外部指導者の活用 (従来通り)

外部指導者は、顧問の教諭と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。



(文部科学省 部活動指導員資料)